

陶に親しむ 7

茨城県陶芸美術館の所蔵品から

中島 宏 (一九四一—)

青磁彫文壺 一九九五年

作者の中島宏は二〇〇七年、「青磁」の技法で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。青磁とは、釉薬に含まれる微量の鉄分が還元炎焼成によって青みを帯びる陶磁器のことで、中島は最も優れていたとされる中国・宋代の青磁を範としながら独自の表現を追求しました。

幾重にも巡らされており、まるで円環が重なったかのような姿を見せています。この部分に釉が溜ることで陰影が生じますが、本作ではそれぞれの彫りの深さに変化をつけることで、釉の厚みに差ができ、その色調の違いが作品の表情を豊かにしています。

本作は器面の全体に釉薬の美しい青色が広がっています。また器胎の周囲には、彫りによる凹凸が

この独自の造形は中国の青銅器の影響で生まれました。中島は一九八四年に中国古陶磁研究者訪中団の一員として各地の古窯や博物館を調査しました。そこで古代の青銅器の迫力ある造形に衝撃を受け、その重厚感を自らの青磁でも表現するべく模索していきま



「青磁彫文壺」平成7年(1995年)
高さ36.7cm×幅33.4cm

で古代理の青銅器の迫力ある造形に衝撃を受け、その重厚感を自らの青磁でも表現するべく模索していきま。本作でも、やわらかな印象を与える青磁の釉調が、硬質な外観と響きあい、それぞれの美を引き立たせる相乗効果を生んでいます。

(茨城県陶芸美術館学芸員 飯田将吾)

※展示は9月28日(日)まで

笠間のみなさん こんにちは!

笠間市協力交流研修員として、ミャンマーの内務省職員 ティン リン アウンさんとラオスのルアンパバーン州職員 シーサワット ビンボさんが6月20日(金)に笠間市に着任しました。二人は商工観光課の一員として来年の3月までの約9か月間、観光行政を中心とした研修に取り組んでいきます。

ティン リン アウン (27)
Htein Lin Aung

ミャンマー連邦共和国

ミャンマーから来ました。「ティンさん」と呼んでください。皆さんにお会いできてとてもうれしいです。日本とミャンマーの友好関係がずっと続きますように!

- 1 スポーツ、読書
- 2 皆さん丁寧で優しく助けてくれる。まちがキレイ。
- 3 がんばってください
- 4 ヤンゴン市(旧首都)、バガン遺跡(世界三大仏教遺跡のひとつ)



- 1 好きなこと
- 2 笠間の印象
- 3 好きな日本語
- 4 自国のおすすめスポット

シーサワット ビンボ (27)
Sisavath Bimbo

ラオス人民民主共和国

ラオスから来ました。まちで見かけたら「ボーさん」と呼んでください。笠間市役所で働くことができ、うれしく誇りに思います。どうぞよろしくお願いします!

- 1 映画、テレビ鑑賞
- 2 平和なまちで皆さん礼儀正しくてキレイ好き。
- 3 笑う門には福来る
- 4 ヴィエンチャン市(首都)、ルアンパバーン(世界遺産)

